

(評価資料1)

評価項目	1 機関の運営方針・研究推進計画に関すること
当センターの状況	<p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性、妥当性</p> <p>本県では、平成26年度から平成28年度の3年間で『本格復興期間』と位置付け、被災者一人ひとりが安心して生活を営むことができ、将来にわたって持続可能な地域社会の構築を目指した取組を進めている。</p> <p>当センターでは、組織の役割や取り巻く環境の変化を見直して毎年度の業務方針に反映しており、東日本大震災津波からの復興の推進や原発放射線測定に関する業務を優先し、次の業務に重点的に取り組んでいる。</p> <p>ア 健康と環境に関する危機管理への迅速・的確な対応 イ 県民の健康と環境を守るための試験検査・監視測定の実施 ウ 関係各課、振興局、保健所等関係機関、市町村、大学等との連携による行政課題に対応した調査研究の実施 エ 保有する資源やデータを活用した技術支援、情報発信、研修指導の実施</p> <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画の整合性、妥当性</p> <p>いわて県民計画の「岩手の未来をつくる7つの政策」のうち、当センターの役割に関わる「共に生きるいわて」、「安心して、心豊かに暮らせるいわて」及び「環境王国いわて」の3つの政策の実現に寄与する試験研究を行っている。</p> <p>研究と県施策の関連付けについては、新規研究計画ヒアリング時に確認及び検討を行っている。</p> <p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況</p> <p>センター研究推進実施要領により、行政関係には文書で、県民にはホームページを利用して毎年研究課題の公募を行い、県民ニーズの把握等に努めている。</p> <p>平成26年度から平成28年度の要望については、2件を研究課題として採用するなど7件を業務に反映させている。</p>
評価結果	<p>○ 評価 A：適当（6人）・B：要改善（0人）・C：不適當（0人）</p> <p>○ 評価コメント</p> <p>(1) 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性、妥当性</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県の政策等に則り適正に運営されていると認める。・ 県の政策・施策推進と業務運営方針の整合性及び妥当性については特に問題はない。 <p>(2) 県の政策・施策と研究推進計画の整合性、妥当性</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県民計画との整合性を認める。・ 研究推進計画は長期的な視点を踏まえながら適正に計画されていると認める。・ 県の政策・施策と研究推進計画の整合性及び妥当性がとれている。

	<p>(3) 研究への県民、企業等のニーズの反映状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部募集等で課題を抽出し、実施している。 ・ 適宜、県民のニーズを把握し反映に努めていると認める。 ・ 研究推進計画への県民、企業等のニーズが反映されている。 ・ ニーズの掘り起こしに十分取り組んでいる。
<p>センターの対応方針</p>	<p>センターの業務運営及び研究実施に当たっては、今後とも東日本大震災津波からの復興の推進をはじめ、県の政策、施策に寄与するよう進めていく。</p> <p>また、引き続き幅広くニーズの把握に努め、「県民本位」の視点に基づき、県民や関係機関等のニーズを的確に反映した研究課題を設定していく。</p>